

ふくろう新聞

いしまでも お元気で

令和3年3月3日(水)

に誕生会を開催しました。

入居者の中で、最高齢の後
しめのさんが満101歳を迎
えられました。

当時の時代もあり全く
教育を受けられなかった
が、ふくろうの郷が学校の
ようです。

3月生まれの入居者を
はじめ、みんなと一緒に
お祝いができて大変うれ
しく思います。

梅が見頃で、これから
桜を楽しむ季節となりま
すが、季節の移ろいを感じ
ていただけるよう考え
ていきたいと思っていま
す。

(生活援助員 酒井裕子)



▲大正9年3月1日洲本市生まれの後さん

感染予防に配慮した 交流スペースを新設

新型コロナウイルス及び感染予防対策の観点から、ご家族様の来訪については安全に配慮しつつ、ガラス越しでの面会にご協力いただき、誠に感謝申し上げます。

この度、家族様などとの面談・交流スペース（玄関左側）を設置しました。限られたスペースではありますが、引き続きご協力の程よろしく願いいたします。



神戸平野ふくろうの樹 6月開所 現地案内は5月~予定



『神戸平野ふくろうの樹』(障害者グループホーム)の内装工事が着々と進んでいます。グループホームへの入所者についても、入所判定委員会を設けて、協議を進めていきます。利用希望や相談はいつでも受付ていきますので、お気軽にご連絡ください。

第24回を重ねる「あわじ耳の日の集い」が3月7日、洲本市総合福祉会館で開催されました。特に手話芝居「ハナさんのSOS」は「コロナ発熱時の遠隔手話通訳が高齢者などを切り捨ててはならないと訴えるものでした。プロ俳優・庄崎隆志さんが演出協力されました。

お問い合わせ・申込先

神戸長田ふくろうの杜

TEL 078-798-7940

FAX 078-798-7941

担当 竹原 哲章

現地案内は5月から予定しております。日程等準備が整い次第、お知らせしていきますので、よろしく願います。



<発行>
社会福祉法人
ひょうご聴覚障害者福祉事業協会
広報委員会
洲本市中川原町中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551
ホームページ
<http://hyoufuku.main.jp/fukuro/>

ふくろう物語 大石 すゑ様

大石すゑさんは大正11年3月16日生まれの99歳です。南あわじ市の旧三原郡神代村出身です。

実家は牛5頭と馬1頭、当時としては珍しく馬を飼っていました。男6人女3人の9人兄弟で下から数えて2番目で小学校5年生ぐらいから帰宅後すぐに田んぼの手伝いをしていましたが、サボってよく怒られていたそうです。

よく覚えている出来事に、風呂を焚く手伝いで柴を燃やしているときに、遊びに行きたくて柴をいっばいくべて、そのまま遊びに行き、危ないと酷く怒られた事です。

高等女学校に進学してからは和裁洋裁と生け花の習い事に精を出したとのことです。20歳前にはお花の師範の免許も取られています。

伴侶と出会い 魚が大好きに

19歳のときにお見合いをされました。相手は阿那賀生まれの24歳。肥料や米の間屋の旦那さんで優しいような性格でした。その時は恥ずかしくて相手の顔を見られず、横目で見たくらいでした。

見合いをした理由は、当時身体が弱く、頻繁に病気になっていたすゑさんを心配した両親が、百姓をしなくても良いようにとの思いからでした。

結婚をしたときに旦那さんのお母さんが家を建ててくれました。負けん気が強くしつかりしたお母さんでしたが、すゑさんには優しくしてくれました。結婚してからは間屋をしていた店を手伝っていました。旦那さんは阿万まで毎日商品を卸しに行っていました。3人の子供にも恵まれ、自分たちで



▲ 孫のお宮参り

食べ物ですが昔は魚が嫌いだったようです。結婚してから魚が大好きになりました。

ふくろうの郷では入所当初、行事やふくろう大学の講座にはあまり参加されませんでした。今では「せっかくだから行ってみようかな」と何でも参加されるようになりました。

おだやかな百歳を

すゑさんに「ふくろうの郷に望むことはありますか？」と尋ねたところ、「百歳近くだからどうなるかわからない、あと1、2年だから宜しく」と微笑みながら、今ではふくろうの郷が、私の郷になりました。穏やかに過ごしたいです」と話されました。

両親、旦那さん、子供さん、旦那さんのお母さんや今まで支えて下さった皆様の思いを引き継ぎ、すゑさんが穏やかに過ごせるように寄り添っていかうと強く思いました。

(月川ユニット)

生活援助員 魚崎 恭行

すゑさんは令和1年7月20日に淡路ふくろうの郷の短期入所を利用したのち、令和2年3月17日に長期入居されています。



外出したいね でも、今はガマン



おやつ作り・餃子作り

2月12日、月川ユニットに ながら生クリームをしぼった
ておやつ作りのレクリエーリ、料理の上手な勝楽さん
ションをしました。2月は8 はフルーツが重ならないよ
名(20名中)の方が誕生日とうに飾りつけをしたりと皆
いうこともあり、ミニケーキさん思い思いにケーキ作り
を作りました。普段であれを楽しみました。作った
ば、率先して料理の得意な 後はもちろん、皆で一緒に
方、元気な方に生地作りから 美味しく召し上がっておら
して頂くのですが、今回は感 れました。

染予防を重視して作るの 制限の多い生活の中
ご自分の分だけにして頂き、 も、楽しめる機会
他は職員が支援しました。 をどのようにつ
それでも盲ろうの八木さ れるかを考え、取
んは生地的位置を確認しな り組んでいき
いとします。

(生活援助係 須藤)



▶ クリームを上手に絞る八木さん



▲ 真剣な表情で盛り付ける勝楽さん

「おいしい！」と平野さん ▶



花木ユニット



2月16日、今回は揚 さんも、作った餃子をべ
職員が本場の餃子を教 ろりと平らげておられ
えてくれるとのことだ ました。「おいしいなあ」
皆さんとても楽しみに 「どうやって作るの
していました。普段お ?」と会話が弾むレク
かずを残される入居者 リエーションとなりま
した。

コロナ禍で外出もま 中、皆さん普段とは違
まならず行事も少ない 秀囲気を楽しまれ、そ
ような支援ができて良 かったです。

(生活援助係 中村)

ユニットケアセミナーを受けて

ユニットケアのワンポイントセミナーを三度に渡
って受講させていただいたなかで、最も深く考えさせ
られたテーマは「居室の設え」についてです。

愛用されていた家具、お写真や思い出の品などをご
自宅からお持ち込みいただき、以前の生活を少しでも
継続することができるよう再現することで、リラックス
していただける雰囲気づくりを目指すというもので
す。

設えの面で、まだまだ工夫していくことができる
可能性を感じ、俄然やる気になりました。

また、講義を受講するなかで生まれた疑問などに
ついて参加者と共有できるグループワークの時間が
設けられ、大変有意義な時間となりました。

(生活援助係 溝)



▶ 皮に餡を詰める
夜久さんと入谷さん

仲間連れもって一緒に手話通訳者を目指そう!!

令和3年度 手話通訳者養成講座開講

対象者:

身体障害者福祉や手話通訳の役割等について理解と認識を深めるとともに、手話通訳に必要な手話表現技術等について学ぶ

開講日時:

令和3年6月15日～令和4年3月15日
毎週火曜日(全36回)午後7時～9時

場 所: 洲本市健康福祉館(みなと元気館)
内5回は洲本市総合福祉会館(やまて会館)

募集定員: 15名

参加費: 10,000円(テキスト代他)

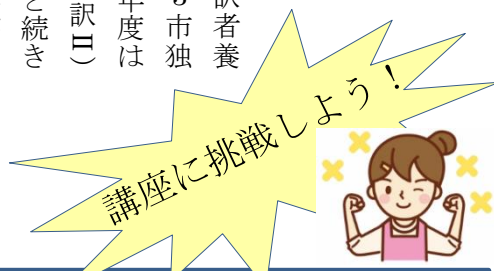
申込資格: 手話奉仕員養成講座(入門・基礎)を修了された方

申込締切: 令和3年5月31日(月)

県事業の手話通訳者養成講座を淡路島内3市独自で開講します。今年度は(通訳Ⅰ)来年度(通訳Ⅱ)再来年度(通訳Ⅲ)と続きます。仲間と一緒に学びあえば、励ましあって楽しく身に付けることができます。身近な地域で受講できるチャンスです。さあ、あなたも手話通訳者目指して学びましょう。



洲本市港2-26
洲本市健康福祉館3階



第24回あわじ耳の日の集い

洲本市総合福祉会館 (3/7)

～遠隔手話通訳を考える～

ワークショップ

ハナさんのSOS

ハナさんは85歳。ろう学校に行っておらず、手話も分かりません。普段は手話サークルやろう協の行事に参加していました。ある日体調の異変を感じて、近所の登録通訳者やろう協会員の家に助けを求めに行きましたがコロナ感染が心配され、会うのを断られました。やむなく一人で病院に行き、そこでスマホを渡されますが、スマホを介しての手話通訳は意味が分からず、帰らざるを得ませんでした。一人ぼっちなハナさんを待ち受けるものは・・・。

2月1日から島内3市では遠隔手話通訳が始まりました。耳の日ではハナさんのような場合について参加者で考えました。



淡聴協、手話サークル会員による練習風景
コロナに関する情報があふれる中で途方に暮れるハナさん

手話を初めて学ぶ人のため 手話奉仕員養成講座4か所で開講

洲本会場(昼)

4月21日～12月15日
毎週水曜(10時～12時)
洲本市総合福祉会館

洲本会場(夜)

4月21日～12月15日
毎週水曜(19時～21時)
洲本市総合福祉会館

淡路会場(夜)

4月22日～12月9日
毎週木曜(19時～21時)
淡路市津名公民館

南あわじ会場(夜)

4月22日～12月9日
毎週木曜(19時～21時)
南あわじ市中央公民館

☆各会場 全30回 各会場10名
対象者: 今まで手話を学んだことがない方
参加費: 3,300円(テキスト代他)
締切日: 4月14日(水)

パソコン要約筆記者

養成講座(淡路地域)開講

開講日時: 5/8～12/4(予備12/11.18.25)
毎週土曜日(全30回)
13:30～16:30

場 所: 淡路市津名公民館(しづのおだまき館)
募集定員: 10名

参加費: 4,700円(テキスト代他)
申込締切: 4月20日(火)

この講座は県の事業です。
申し込みは県聴覚障害者情報センターへ
TEL 078-805-4175
FAX 078-805-4192

要約筆記は難聴者に対して文字であらわし、支援する方法です



大正 10年2月1日生まれの松本さんは今年で100歳を迎えられました。
令和3年2月3日(水)、利用者さんと一緒にお誕生日の祝いをしました。

**松本しめ子様 100歳
お誕生日おめでとう**
デイサービスセンター桜ヶ丘

**中川原高齢者・障がい者地域
ふれあいセンター**



兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2
☎656-0002
TEL 0799-28-0990
FAX 0799-28-0992



最初にデイサービスに来られた頃は、緊張された様子で入浴を済まされるとお帰りになる日が多かったのですが、次第に、皆さんと同じ時間過ごされるようになりました。最近では、皆さんと顔なじみになり、歌を歌ったりゲームをされたり楽しんで過ごされています。

誕生日会では、ご利用者さん
り「さくら」を作りました。



(デイ桜ヶ丘 山岡典代)

が作って下さった「100歳」のちぎり絵を飾り、「祝100歳おめでとう」のくす玉を割って、花吹雪の中、髪飾りを付けられ、ご自身でも「ハッピーバースデー」を元気に歌われました。皆さんと一緒に作った紅白餅のぜんざいを「おいしいわあ」と、召し上がられました。
「100歳かあ。すごいなあ」「おめでとう」と皆さんからのお祝いの言葉に「ありがとう」とニコニコと笑顔で答えておられました。とても温かい雰囲気のお誕生日会になりました。これからも末永く、デイサービス桜ヶ丘にお越しいただき、素敵な笑顔を見せて下さい。

お好み焼き・たこ焼きで農業班 慰労会

2月18日(木)、利用者さんが希望されていた、お好み焼きとたこ焼きをみんなで焼きながら食べました。準備されている材料の中から自分好みの材料を選んで焼いて、感想を言い合って楽しく過ごしたり、また自分が焼きたかったのに・・・と少し不満があったりと様々でした。



▲山野さん、たこ焼き15個完食!

普段は昼食をたくさん食べない94歳の山野さんも、たこ焼き15個とお好み焼き1枚を食べ、ご家族にもその時の写真と併せてお伝えしたところ、とても驚いておられました。

日頃の作業の疲れをお互いに労う意味もこめて、食べていない人はいないか仲間や職員に気づかい声をかけて回る人もいました。

「途中、プレーカーが落ちるアクシデントや食べる直前までマスクをして焼くという不便さもありましたが、何とか無事に終えることができました。状況の中でしたが、真冬の寒空の下での作業や納品期限に追われる大変な毎日ですが、時には楽しい時間を過ごしていただき、明日への活力になればと思います。



(支援員 矢田)

神戸長田ふくろうの杜

〒653-0836 兵庫県神戸市長田区神楽町5丁目3の14の1
電話：078-798-7940
FAX：078-798-7941

生活介護でひとりひとりに合ったくらしづくり

神戸長田ふくろうの杜の竣工開所によって、生活介護まいぺーすの事業が始まりました。

これまで共同作業所神戸ろうあハウスに通所していた利用者に、新規の方も合わせて、6名の方が通所しています。



▶ 食堂のユニホームの洗濯のお仕事

遠山佳代さん(左上写真)は、あの阪神淡路大震災の五年後、共同作業所神戸ろうあハウスの設立当初からの利用者です。

通所を始めたころは、一日仕事をすることができましたが、最近ではめまいの発症もあり、午前中は仕事を頑張りますが、昼からは、椅子に座って寝ていることが増えました。それでも、食堂の接客もやりたい、B型の仕事も一緒にやりたいと気持ちは常に前向きです。体調に合わせて、働けるようになります。

生活介護の一日は、B型の作業所の利用者と一緒に朝の会で、その日の予定を確認します。朝の会の後、1階の食堂のユニホームを洗濯して畳む仕事をし、ストレッチで体を動かします。午後からは、B型の仕事をしたり、絵を描いたり、それぞれの希望に合わせて過ごされます。

他にもB型の利用者と一緒に月2回、近くの市営住宅やマンションなどに1階のふくろうの杜食堂の1か月のメニュー表のチラシを配布に行っています。また、週1回は、食堂の接客の仕事もします。

長時間になるとやっばりしんどくな



▲一緒にストレッチしたり、本を読んだり

ってしまいますが、接客の仕事は大好きで、仕事への意欲は人一倍！担当の日は、朝から「接客がんばる！」と笑顔で話し、お客さんをお迎えすることを楽しみにしています。

今では、ベッドに横になったり、ストレッチや絵を描いたり、それぞれのペース、体調に合わせて日中の過ごし方、「くらし」に感じます。

職員も新しい事業に戸惑いながらもひとりひとりの暮らしのサポートできるように日々、取り組んでいます。

3・4月ふくろうの暮らし

- 3/17 (水) ふくろう喫茶
- 3/19 (金) 書道講座
- 3/23 (火) おのころパン販売
- 3/26 (金) 料理講座・回想法
- 4/ 5 (月) ふくろう理髪店
- 4/ 6 (火) 演劇講座
- 4/ 7 (水) 誕生会

神戸施設建設募金

目標 1 億円 !!

2021.2.28 現在 募金合計額 **93,167,569 円**
(プレート募金 324 人)

目標 1 億円まで、あと **6,832,431 円**